

臨床研究の実施に関する情報公開

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターでは、臨床研究倫理審査委員会および病院長の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究課題名	人間ドックにおける便潜血検査として便中トランスフェリン検査の有用性の評価
目的及び方法	便潜血反応検査は近年増加傾向にある大腸がんの検査法としてその有益性が確認され推奨されています。当院では従来の便中ヘモグロビン検査に加え、便中トランスフェリン検査を 2024 年度より併用しています。便中トランスフェリンの便中ヘモグロビン検査との併用による便潜血反応検査としての有用性はすでに 1990 年代から報告があり、その後大腸癌検診でも使用されてきました。しかし人間ドックにおける活用の報告は見当たらず、当院でも新たな取り組みであり、その効果の検証により、人間ドックにおける便潜血反応検査の精度向上の可能性を評価できます。 人間ドックにおける便潜血検査における便中トランスフェリン検査の効果を評価することで、地域にとどまらずわが国全体の健康管理に貢献できると考えます。
研究対象者	2024 年度の当院人間ドック受検者全員を対象とします。ただし、便潜血検査未受検者、およびこの研究のために情報が使用されることにご了承いただけない旨の申し出があった方は対象外となります。
利用する情報の項目と取得の方法	下記の情報を対象患者様の診療録より収集し利用します。なお、個人名、住所、職業、所属組織等の個人が特定されうる医療情報以外の個人情報収集・利用しません。 - 患者背景：性別、年齢、消化管疾患の既往歴および治療状況 - 便潜血検査結果（便中ヘモグロビン、便中トランスフェリン） - 人間ドック検査結果（血液検査） - 医療機関受診後の精密検査結果（診断結果）
利用または提供を開始する予定日	実施期間：2026 年 1 月～2027 年 3 月 対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	中東遠総合医療センター 院長 宮地正彦
研究責任者	所属 人間ドック・健診センター 氏名 新島邦行
利用する者の範囲	経営戦略室 兼 人間ドック・健診センター 事務員 鈴木寿昌 人間ドック・健診センター 医師 山本史子 放射線診断科 医師 石原雅子 脳神経内科 兼 人間ドック・健診センター 若井正一
情報の管理者	院長 宮地正彦
研究の拒否	患者様又は患者様の代理の方が、この研究のために情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。除外の申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでにデータ化された場合は除外できませんのでご了承ください。

個人情報保護について	本研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また研究関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。研究関係者がその職を退いた後も同様とします。
問い合わせ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 所属 人間ドック・健診センター 氏名 新島邦行 電話 0537-21-5555（代表）